

区 分	除 草 剤 名		昭 和	昭 和	昭 和	昭 和	昭 和
	一 般 名	商 品 名	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度
(2)茎葉処理剤 (つづき)	D P A	ダウボン水溶剤	千ha 16.4	千ha 3.6	千ha 1.4	千ha 1.4	千ha 3.0
	塩素酸塩	粉剤, 粒剤	17.1	9.2	7.9	8.8	9.9
	塩素酸塩	水溶剤	40.8	41.1	27.1	26.9	25.7
	テトラピオン	フレノック粒剤	9.1	1.8	2.7	4.4	4.1
	テトラピオン	フレノック液剤	0.6	0.5	0.1	0.2	0.2
	プロバジン	ゲザミル水和剤	3.4	4.5	7.4	2.0	3.3
	ピクロラム	ケイピン	2.5	3.4	3.4	8.4	11.1
	ジクワット	レグロックス液剤	91.3	35.0	44.9	70.6	97.6
	グリフォセート	ラウンドアップ液剤	—	—	1.2	3.0	4.1
	T C A	ゲルバー粒剤	—	—	0.2	0.2	0.6
	A C N	キレダー水和剤	—	—	—	—	0.1
	ブチダゾール	ラベージ水和剤	—	—	—	—	9.0
	小 計		1,018.0	805.6	881.31	1,039.21	1,066.9
	合 計	(畑作用除草剤)	2,540.4	1,907.3	2,122.71	2,614.33	2,767.6
総 合 計			8,548.3	7,711.3	7,984.61	8,296.73	8,505.1

(財団法人 日本植物調節剤研究協会試算)

- 注) ① この統計表の算出にあたっては、各メーカーより報告された出荷量を基とした。
 ② 使用面積の算出にあたっては、10 a 当り使用量の平均値を用いて換算した。

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課

昭和54年8月1日～10月31日

種 類 名	商 品 名	有効成分の 種類および 含 有 量	剤 型	適用作物 (場所)	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	使用量 (10a 当り)	使用方法	登録会社
DBN除 草剤	カソロン 粒剤 4.5	2,6-ジク ロルベンゾ ニトリル 4.5%	粒剤	いぐさ	ノビエ, アブノメ 等の水田 一年生雑 草及びマ ツバイ, ミズハコ ベ.		腐植に富 む埴土～ 埴土 〔減水 深0.5 cm/日 以下〕	3月上旬 ～4月下 旬.	3 kg	湛水のま ま散粒機 または手 まきで全 面に均一 に散布す る.	兼商化学 工業(株).
シメトリ ン・MC PB 除草 剤	日農バウ ナックス M 粒剤 3.5 三共バウ ナックス	① 2-メチル チオ-4,6 -ビスエチ ルアミノ- S-トリア ジン 2.5%	粒剤	稚苗移植 水稻	ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ.	関東, 東 山の普通 期栽培地 帯.	砂埴土～ 埴土 〔減水 深2 cm/日 以下〕	田植後20 ～25日(ノ ビエ2葉 期まで) 〔田植前 後の初期 除草〕	3 kg	湛水散布 (茎葉兼 土壌処理).	日本農薬 (株), 三共 (株), 北海 三共(株).

種 類 名	商 品 名	有効成分の 種類および 含 有 量	剤型	適用作物 (場所)	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	使用量 (10a当 り)	使用方法	登録会社
シメトリ ン・MC PB 除草 剤 (つづき)	M粒剤 3.5	② 2-メチル -4-クロ ルフェノキ シ酪酸エチ ル 1.0%						剤による 土壌 処理と の体系 で使用			
					ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ、ホ タルイ、 ヘラオモ ダカ。	北海道	壤土～埴 土 〔減水 深 2 cm以下〕	田植後15 日頃(ノ ビエ1.5 葉期まで) 田植後20 ～25日(ノ ビエ1.5 葉期まで) 〔田植前 後の初期 除草 剤による 土壌 処理と の体系 で使用〕			
					ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ、ウ リカワ。	東北、北 陸	砂壤土～ 埴土 〔減水 深 2 cm以下〕	田植後20 ～25日(ノ ビエ2 葉期まで) 〔田植前 後の初期 除草 剤による 土壌 処理と の体系 で使用〕			
					ウリカワ	北陸、関 東以西の 普通期栽 培地帯(西 南暖地を 除く)。	壤土～埴 土 〔減水 深 2 cm以下〕	田植後10 ～15日、 ウリカワ 発生盛期 から4～ 5葉期ま で。			
					ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ。	全 域		田植後7 ～15日(活 着後) 〔ノビエ〕 発生始 期から 2葉期 まで〕			
シメトリ ン・MCPB 除草剤	日農パウ ナックス M粒剤	① 2-メチル チオ-4,6	粒剤	普通移植 水稻	ノビエ等 の水田一 年生雑草	温暖地、 暖地の普 通期栽培	壤土～埴 土 〔減水〕	田植後5 ～13日(活 着後)	3 kg	湛水散布 (茎葉兼 土壌処理)	日本農薬 (株) 三共 (株) 北海

種 類 名	商 品 名	有効成分の 種類および 含 有 量	剤型	適用作物 (場所)	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	使用量 (10a当り)	使用方法	登録会社
シメトリ ン・MC PB 除草 剤 (つづき)	三共パウ ナックス M粒剤	ービスエチ ルアミノ S-トリア ジン 1.5% ② 2-メチル -4-クロ ルフェノ キシ酪酸エチ ル 1.0%			およびマ ツバイ.	地帯.	深 2 cm _右 以下	ノビエ発 生始期か ら2葉期 まで.	3~4kg		三共(株).
					ウリカワ	東海以西 の普通期 栽培地帯 (西南暖 地を除く).		田植後10 ~15日, ウリカワ 発生盛期 から4~ 5葉期ま で.			
					稚苗移植 水稻	ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ, ホ タルイ, ヘラオモ ダカ.	北 海 道.	田植後20 ~25日(ノビエ1.5 葉期まで) [田植前 後の初 期除草 剤によ る土壌 処理と の体系 で使用]	3 kg		
					ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ, ホ タルイ.	東北, 北 陸.			3 kg		
					ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ.	関東東山 の普通期 栽培地帯.					
					ノビエ等 の水田一 年生雑草 及びマツ バイ, ウ リカワ.	東海以西 の普通期 栽培地帯. [西南暖 地を除 く.]		田植後20 ~25日(ノビエ2 葉期まで) [田植前 後の初 期除草 剤によ る土壌 処理と の体系 で使用]	3 kg		
MCC・ MCPB 除草剤	クサキッ ト粒剤	① メチル-N -(3,4- ジクロル フェニル) カーバメ ート 20.0%	粒剤	普通移植 水稻	ノビエ その他の 水田一 年生雑 草, マ ツバイ.	東北, 北 陸以北.	砂壤土~ 埴土 [減水 深 2 cm _右 以下]	移植後10 ~12日(ノビエ2 葉期まで)	3 kg	湛水散布 (土壌兼 茎葉処理)	日産化学 工業(株).
						関東東山 以西の普 通期栽培	埴土~埴 土 [減水]		3~4kg		

種 類 名	商 品 名	有効成分の 種類および 含 有 量	剤型	適用作物 (場所)	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	使用量 (10a当 り)	使用方法	登録会社
MCC・ MCPB 除草剤 (つづき)		② 2-メチル -4-クロ ルフェノ キシ酸エチ ル 0.9%				地帯(但 し九州、 南四国を 除く)。	深 2 cm以下				
			稚苗移植 水稻			東北、北 陸以北。	壤土～埴 土 〔減水 深 2 cm以下〕	移植後25 ～30日(ノ ビエ2 葉期まで) 〔移植前 後初期 除草剤 による 土壌処 理との 体系で 使用。〕	3～4kg		

新 登 録 生 育 調 節 剤 一 覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課

昭和54年8月1日～10月31日

種 類 名	商 品 名	有効成分の種類 および含有量	剤型	適用作物	使用目的	使用時期	希釈倍数	使用方法	登 録 会 社
植物成長 調 整 剤	ミドリナ ール	アルキルポリオ キシエチレンア ルコール	粘稠 液体	杉 苗	蒸散抑制 による植 え傷み防 止。	移植時(掘 りとり前) 移植時(掘 りとり後)	10～20倍	苗の地上部 全体に均一 に散布する。 苗の地上部 又は全体を 浸漬する。	東邦千葉化学 工業(株)

調節剤試験成績検討会

植 調 協 会 だ よ り

日時：昭和54年12月6日(木)～7日(金)，
10:00～17:00

◎ 会議開催日程のお知らせ

- 昭和54年度春夏作芝生関係除草剤・生育調節
剤試験成績検討会

日時：昭和54年12月4日(火)，9:30～17:00

場所：虎ノ門第17森ビル第5会議室(東京
都港区虎ノ門1-26-5，TEL. 03-
591-1315)

- 昭和54年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育

場所：東京トラック事業健康保険組合「健
保会館」5階大会議室(東京都千代
田区四番町5-7，TEL. 03-264-
2361)

- 昭和54年度水稻畑作関係除草剤・生育調節剤
試験成績中央検討会

日時：昭和54年12月11日(火)～14日(金)，
9:30～17:00